

GERに関するワークショップ 2018年2月18日 10:00~17:00

発表時間：15-30分

発表時間	発表タイトル	所属	発表者
総合司会：降旗 弘城(JAXA)			
10:00-10:05	開会挨拶	JAXA	伊東執行役
10:05-10:20	国際宇宙探査の調整経緯	JAXA	佐藤 直樹
< GER第3版の紹介 >			
10:20-10:35	GER第3版の概要	JAXA	佐藤 直樹
10:35-10:55	有人宇宙探査の意義と目的	JAXA	佐藤 直樹
10:55-11:15	深宇宙ゲートウェイコンセプト	JAXA	末廣 知也
11:15-11:35	有人月面探査コンセプト	JAXA	佐藤 直樹
11:35-11:55	有人月面探査実証ミッションコンセプト	JAXA	森戸 俊樹
11:55-12:15	無人月面探査と水資源の活用	JAXA	増田 宏一
12:15-12:35	有人探査に向けた技術の高度化	JAXA	上野 浩史
12:35-13:45	ランチ		
< 日本のシナリオ >			
13:45-14:05	宇宙探査にかかる政策について	文部科学省	庄崎 未果
14:05-14:25	JAXAの宇宙探査シナリオ	JAXA	成田 伸一郎
14:25-14:45	日本人宇宙飛行士からの期待	JAXA	若田 光一
14:45-15:05	日本での研究開発ステータス	JAXA	佐藤 直樹
15:05-15:20	休憩		
< ステークホルダーからの期待 >			
15:20-15:50	惑星科学の観点からの国際宇宙探査の未来	神戸大学	荒川 政彦
15:50-16:10	宇宙産業界からの宇宙探査への期待	IHIエアロスペース	仲里 悟
16:10-16:55	ディスカッション(国際宇宙探査への参画について)		参加者全員
16:55-17:00	閉会挨拶	JAXA	若田 光一

発表時間	発表タイトル	所属	発表者
月極域WSその2			
2018年2月19日 10:00~17:35			
発表時間：15-30分			
座長：橋爪 光/大竹 真紀子			
10:00-10:20	ワークショップ開催趣旨と国際動向	JAXA	星野 健
10:20-10:50	前回のワークショップのサマリー	JAXA	星野 健、大竹 真紀子
10:50-11:10	月極域探査機の検討状況と進め方に関する課題	JAXA	星野 健
11:10-11:25	国際協働による月極域探査の検討状況	JAXA	大竹 真紀子
11:25-11:45	ispaceからみた月面資源開発	ispace	中村 貴裕
11:45-12:05	スカパーJSATの目指す宇宙探査における価値創出	スカパーJSAT	内山 浩
12:05-12:15	月極域探査技術に関する情報提供要請（RFI）への回答結果について	JAXA	降旗 弘城
12:15-13:25	ランチ		
座長：小川 和律			
13:25-13:40	国際宇宙探査専門委員会の月極域科学探査タスクフォースの活動について	神戸大学	荒川 政彦
13:40-14:00	月極域探査への提案（工学分野）	JAXA	久保田 孝
14:00-14:20	月極域の水氷に関する理論と観測. レビューをふまえて	JAXA	春山 純一
14:20-14:40	月面水の起源解読に向けた同位体比分析：レビュー	茨城大学	橋爪 光
14:40-15:00	月極域の水氷探査に向けた物質科学データの取得と装置への活用	東北大学	鹿山 雅裕
15:00-15:10	休憩		
座長：長岡 央			
15:10-15:30	マイクロ波による地下探査：誘電率モデルと探査深度の検討	東京大学、東北大学	宮本 英昭、熊本 篤志
15:30-15:50	月極域でのアクティブ地震探査：月土壌を模擬した環境における実験	九州大学、国立天文台	辻 健、川村 太一
15:50-16:10	月レゴリスによる資源・エネルギーその場利用(ISRU)研究	早稲田大学	福中 康博
16:10-16:30	月の電磁場探査	JAXA	野村 麗子
16:30-16:50	月レゴリスおよび水氷層の機械的・力学的特性を調査・計測するための技術	立命館大学	小林 泰三
座長：唐牛 譲			
16:50-17:30	ディスカッション		参加者全員
17:30-17:35	閉会挨拶	JAXA	伊東執行役